

2011-B					
拠出金・基金の名称:		アジアにおける3Rの戦略的実施支援事業拠出金			
種 別		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国連地域開発センター(UNCRD)					
【所管官庁担当局課・室名】: 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 循環型社会推進室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 当該拠出により、主に以下の取り組みを通じて、日本が推進する政策である3R(リデュース, リユース, リサイクル)の普及を目指す。 - アジア3R推進フォーラム開催 - 3R国家戦略策定支援 - 3R現地研修・ワークショップ開催 - アジア3Rイニシアティブ広報活動					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	24,030	-	-	円建て	100
平成22年度	25,380	-	-	円建て	100
平成21年度	27,810	-	-	円建て	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・日本に本部を置いている国際機関であるUNCRDに対する拠出は、日本が高い専門性を持つ分野である環境、防災等に関する日本の経験から編み出された優れた政策を国連の権威を通じて世界に普及させることにより、我が国が重視する価値を国際社会において広く普遍化することに資するものであり、当該拠出の必要性は高い。 ・UNCRDに対するイヤーマーク拠出金(3R)の主な効果は以下のとおりである。我が国は、同拠出金の費用対効果が高いと評価している。 2009年、UNCRDは東京3R宣言を策定し15ヶ国の参加によりアジア3R推進フォーラムが設立。2011年の第3回会合では23ヶ国が参加し「シンガポールフォーラム提言」を採択。これは、3Rと資源効率性との密接な関係に着目し、廃棄物管理にとどまらず、農業や工業など広範なセクターでの3R推進を提言するもので、2012年6月開催のリオ+20にインプットとして議長サマリーとともに提出した。2009年、2010年、ベトナム及びバングラデシュにおいて、「3R国家戦略」が本国政府により正式に承認を受け、国の諸課題の中に3Rが盛り込まれる土台が作られた。フォーラム、国家戦略、現地研修・ワークショップ等の活動を通して、アジア地域における3Rの普及と推進に貢献している。また、3Rは、国連持続可能な開発委員会(CSD)第18会期議長サマリー(2010年)に明記されるなど、諸外国で高い評価を受けている。					